

# 平成15年度 第3回理事会議事録

於：熊本市 水前寺共済会館 鳳凰

出席者 会長：原口 事務局長：仲光 研究部長：大岩  
理事：池田恵（荒玉） 池田義（鹿本） 児島（菊池） 藤本（阿蘇） 軒口（熊本）  
井手上（上益城） 山崎（宮本） 片山（八代） 深水（人球） 田中（水葦）  
松崎（天草） \*宇城地区 山崎理事は都合により欠席 代理 宮本副会長  
事務局員：岩下、西（総務） 牛島、高田（会計） 入江、山口（事業）

開 会 10:00~

会長挨拶 原口会長

経過報告 仲光事務局長

議 事 (議長選出 : 上益城地区 井手上 理事)

今年度(第29回)大会の反省と総括

## 1 第29回 県大会の基本総括

第3回事務局・研究部合同会での総括と反省をもとに事務局長から報告がありました。

分科会運営会議を1回で済ませられないか。という見直し項目について、研究部長から、研究部会で検討したが1回の会議ではうまく運営できるか自信がないという意見が多かった。理事からは、予算との関連では、1回で済ませられるような検討も必要ではないか。

ほかは特段の質疑事項はなく、原案どおり総括をしました。

## 2 運営面全体について

第3回事務局・研究部合同会での総括と反省をもとに事務局長から報告がありました。

大会行事から総会行事間までの時間が長すぎた。全体的に総会の時間が足りない。という反省から、大会日程表の総会行事開始時刻は入れなくていいのではないか。(大会行事終了次第、総会行事に移れるので総会の時間をもっと確保できる)

議事の提案者と質問に答える者が違うというのは違和感がなかったのか。

来年度、また検討したい。

準備の時、最初と最後に集合して、指示があった方がよかった。

エレベーター、エスカレーターが混雑して時間がかかった。

大会業務内容に関係して、2日目の受付必要なのか、という質問あり。

原則として、2日目の受付は2日目のみの参加者と当日受付の人のみをしていた。  
分科会場がわかりにくかったので、入口に第 分科会の明記が必要だった。  
パレアホールは、分割した場合ワイヤレスマイクが使えないのか。(となりの部屋に声が出てくる)また、有線マイクの本数も少ない。

確認の必要あり。

パレア会場とは、十分な打ち合わせが必要。

研究大会会計に関連して、学校の統廃合もあり会員数が減少するのは確実だから大会会計もスリム化する必要がある。

分科会運営会議について、2回あったので当日の運営がスムーズにいった。という意見と、会議で2回出てくるのは行事等の関係もあり大変だという意見あり。

ほかは特段の質疑事項はなく、原案どおり総括をしました。

### 3 全体研究会について

第3回事務局・研究部合同会での総括と反省をもとに研究部長から報告がありました。

研究部長から、標準的職務についてのアンケートを実施したいとの提案あり。

了承される。

研究部長から、標準的職務について引き続き研究部で研究していきたいという報告あり。

学校事務職員を取り巻く環境が厳しくなっているなか、標準的職務一覧表をできるだけ早い時期に県教委から出させる必要がある。

共同実施についても標準的職務一覧表があれば校長等と話がしやすい。進めやすい。

原案どおり総括をしました。

県教委から標準的職務についての公文書を出してもらうように働きかけるのかどうかという点については、上記のアンケート結果を踏まえ、次回理事会でさらに検討を重ねていきます。

### 4 各分科会の総括と反省

各分科会の担当理事から分科会の総括と反省について報告がありました。

特段の質疑事項はなく、原案どおり総括をしました。

次年度(第30回)大会について

#### 1 次年度の大会期日および現在の借用施設

大会期日：平成16年10月26日(火)・27日(水)で提案

メイン会場：鶴屋ホール

#### 2 次年度分科会場の借用について

鶴屋ホール    パレアホール    パレア会議室

### 3 会場の推移と賃貸料

特段の質疑事項はなく、原案どおり了承されました。

「学校事務必携」の作成について

研究部長から事務必携の会計説明とアンケートの集約結果の説明があり、平成16年度以降の取り扱いについて

A案：1,000円で有料販売      B案：現状を続ける

理事からの要望事項として

公費扱いもできように納品・請求書を付け、振込先口座を入れてほしい。

希望を取るとき、公費購入か個人購入かを記入する欄を入れてほしい。

次年度分からA案の1,000円で有料販売することになりました。

その他協議事項

#### 1 役員の選出方法について

副会長・事務局長・研究部長の選出方法について、各地区での話しあいの様子などを各理事から報告してもらいました。そして、理事会で意見交換をした結果

副会長については、現状と同じで理事の中から選出する。事務局長・研究部長については、会長選考委員が会長の意向を聞いて対応する。ただし、必要に応じて事務局長選考委員、研究部長選考委員を他の理事に依頼することもある。ということでまとめました。

#### 2 「県事務研の活性化」総括

県事務研の活性化方針に基づいて研究大会を実施するようになり5年が経過したので、もう一度振り返って確認なり総括をした方がよいだろうということで研究部長から報告がありました。

その後、開催地の熊本市固定の件と 毎年各地区研から1本のレポートを出す。ということについて理事会で意見交換がありました。そして、下記の点を確認しました。

活性化の理念を念頭において、熊本市及びその周辺で検討する。  
基本的には毎年、各地区1本のレポートを出す。

参考までに、理事会で出した資料を添付しておきます。

#### 「県事務研の活性化」総括

##### 1 経過

1985年、第11回県事務研大会において「県事務研の在り方について」というテーマの分科会が実施されています。大会の運営について様々な問題点があるということで、主として分科会の運営の在り方について改善策が提起されました。しかし、その後、改善策は具体化されず10年が経過しました。

1995年、第21回大会で「学校事務に夢と未来を求めて 県事務研の在り方を考える」の題で、再び県事務研の活性化を模索する分科会が実施されました。ここでも、主たる論点は分科会の在り方についての問題でした。

翌1996年、全地区から事務局員を出すことになり、新事務局体制のもと、それまでの論議の経緯を整理しながら、主として大会における分科会の改善を中心として県事務研の活性化について協議が積み重ねられていきました。その結果は「県事務研の活性化を目指して」と題するレポートに取りまとめられ、理事会への提起を経て1997年の第23回大会で三度目の分科会を実施しました。

この活性化方針はその後、理事会において度重なる協議を行い、さらに各地区研での協議や全会員へのアンケート調査などを経て、1998年9月の理事会において議決、翌1999年の第25回大会から実施の運びとなりました。

## 2 活性化以前の分科会の問題点

### (1) 1本のレポートで4時間にわたる分科会を行うことの困難

間が持てない。

レポートのボリュームが大きくなる。

発表担当者が特定の個人に固定する傾向がある。

発表のための発表、研究のための研究につながる。

### (2) 発表テーマが単発的

同じ分野の研究発表が重なることがある。

大会としての研修メニューに計画性がない。

研究に継続性がなく、一過性のものとなる。

### (3) 助言者を置いていないため、身内の論議に終始している。

## 3 分科会の改善策

### (1) テーマ別分科会の設置

学校経営と学校事務

教育条件整備

事務改善

大会ごとにテーマを設けて実施する予備分科会

基礎講座

} 過去の研究発表内容の分類から導き出された。

### (2) 発表主体とレポート

理想は「自由応募」であるが現実には困難なので、地区研を選出母体として個人や市町村事務研など、発表主体を広げる。

毎年各地区研から1本のレポートを出す。地区研で発表されたものの中から選ぶ。

レポートのページ数は5～10ページとする(大部なものとしない)。

(3) テーマ別分科会のねらい

活性化以前の分科会の問題点の解消

誰でも研究発表ができる環境作り。「発表することは特別なことではない」

地区研の成果が県事務研に出てくることによる双方の連携と活性化

4 開催地の熊本市への固定

(1) 理由

会場の確保が地方よりも容易である。

講師や助言者等の手配がしやすい。

参加者の増加。講師や助言者等にかかる経費の捻出。

(2) その他の理由

駐車場や弁当のための手配や役員配置が不要である。

会場への誘導のための表示や役員配置が不要である。

開催地固定により大会開催の手順等をマニュアル化でき、改善を積み上げていくことができる。

3 全事研問題について

全国公立小中学校事務職員研究会（略称 全事研）への加入について、原口会長から提案文書を示して、会員への周知についてと来年度の総会で図りたいという提案がありました。

理事会の中で、質問や意見交換が行われ、

会長から提案があったのだから各地区で充分論議しなくてはいけないのではないかとということで、下記の点を確認しました。

本日の文書は訂正のうえ再配布する。

各地区で充分話し合いをする。

全国の組織加入者等の資料もつける。

来年度の総会で提案する。

4 国庫負担請願について

事務局長から本年度の請願書の写し、採択通知書、意見書の紹介がありました。

**その他連絡事項等**

研究部から

会報発行が遅れましたが、今回は1月発行予定にしています。配布方よろしくをお願いします。

議長解任

**閉 会**

次回理事会

案 3月5日(金)

案 3月4日(木)